

## 地域経済社会システムとしごと・働き方検討会中間報告骨子(案)

平成31年4月24日  
まち・ひと・しごと創生本部事務局

地域経済・社会を活性化させるためには、域外から稼ぎ、域外から人材と資金を呼び込むとともに、域内において効率的な経済循環を実現するような、生産性が高く、活力に溢れた、収益性のある産業を形成し、若者や女性・高齢者を含む全ての働き手にとって魅力のある、働きやすい職場を生み出すことが重要。

## 1. 強靱な地域経済社会システムの確立

## (1)各地域の強みを活かした地域経済循環システムのあり方

- －取引関係等を通じて地域経済に高い波及効果を有する中核的な企業・地域経済を牽引する企業のイノベーションや生産性向上を重点的に支援することで地域全体の稼ぐ力を高めていくことが重要。
- －潜在的な地域経済けん引企業の発掘とその成長に向けた支援。
- －付加価値と雇用を生み出す企業の拠点を地域において強化・拡充していくことが大事。
- －インバウンド、海外市場の活力を取り込んだ地方創生。
- －企業活動の実態に即した広域的な経済圏を意識した政策展開の検討。
- －RESASの活用等、データに基づく戦略策定と人材育成。

## (2)地域経済の主な担い手である中小企業の生産性向上と収益力強化

- －中小企業の生産性向上に向けて、IT導入、設備投資、ビジネスモデルの刷新等を促進。
- －地域経済の主役である多様な全ての地域中小企業において、生産性向上に向けた取組の加速。
- －生産性向上・収益力強化を働き手の所得環境改善につなげる環境整備。
- －生産性向上に向けた人材マッチングを見据えた経営課題の洗い出し支援。

## 2. 新しい産業の創出

## (1)地域発のイノベーションの継続的な創出の促進

- －地域産業、大学、さらには市民まで巻き込んだクロスセクショナルな仕組みによる地域イノベーションエコシステムの強化。

－地域の知の拠点である地方大学、地域資源を活用した地域経済活性化や地域課題の解決に向けた取組の推進。

－イノベーション推進の中核となる人材育成や若者等の活躍の場作り。

－大学や高専等の教育機関と連携した地域の専門人材育成。

## (2)創業・事業承継による産業活性化と新陳代謝

－創業支援のさらなる強化、各種施策を通じた事業承継支援

－地域において創業等に取り組む人材のネットワーキング

－地域金融機関による創業支援・事業承継の促進

## 3. 産業人材の流動化等

### (1)労働者の満足度と高い生産性を両立する働き方の実現

－地域企業の経営課題に対するコンサルテーションや地域金融機関との連携強化等によるプロフェッショナル人材戦略拠点の機能強化・拡充。

－働き手の能力を発揮する働き方改革の推進。

### (2)兼業・副業等の多様な関わり方による大都市圏人材の地域における活躍促進

－プロフェッショナル人材戦略拠点の機能強化・拡充(再掲)

－地域の企業の人材ニーズの掘り起こし・マッチング

－副業・兼業の拡大に向けた大企業及び人材を受け入れる地域企業の意識改革や課題整理

－大企業等における多様な働き方や地域貢献の促進

－地方創生インターンシップなどを通じた若者層の地域企業での就業体験の促進

－地域へのUIターン就職・地元定着の推進

### (3)多様な労働主体の労働参加に向けた環境整備

－テレワークやクラウドソーシングなどのITを活用した多様な主体の労働参加促進

－多様な雇用形態による正社員雇用の普及

－地域における外国人活用に向けた環境整備

## 4. 社会的課題に対応する地域経済社会システムの構築

### (1)持続可能な地域を支える地域経済社会システム

### (2)ソーシャルビジネスの現状と拡大に向けた課題

### (3)地域経済・地域コミュニティの活性化における企業・自治体・消費者の役割